

不確実な時代の未来指針を示す

羅針盤セミナー

※ 開場時間が15:30から15:40に変更になりました。

資本主義の羅針盤

ナビゲーター

熊野 英介

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CVO

2025年7月23日（水）16:00～18:00（開場 15:40～）

登壇者



入江 堅治 氏

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
執行役員 社会的価値創造企画部長



金井 司 氏

三井住友信託銀行株式会社
サステナビリティ推進部 フェロー役員



森 洋一 氏

公認会計士

1995年に住友銀行（現三井住友銀行）に入社。1998年から2013年までニューヨーク拠点にて勤務し、主に非日系企業営業に従事。2013年から2020年までは本店の経営企画部及び国際統括部にて、中期経営計画の策定や海外事業開発を担当。2020年から2024年まで再びニューヨークにて勤務し、非日系営業部の部長としてCorporate and Investment Banking Coverage業務を所管。2024年から現職にて、三井住友フィナンシャルグループの社会的価値創造に係る取組を所管。神戸大学客員教授。

1983年入社。2003年にサステナビリティ部署の立ち上げを主導し、2018年より現職。この間、同社のサステナビリティ経営の基盤を整備、SRIファンド、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの開発、テクノロジー・ベースド・ファイナンスチームの組成等を手掛ける。一般社団法人エコシステム社会機構理事、「21世紀金融行動原則」及び「インパクト志向金融宣言」の初代運営委員長、環境省、内閣府、金融庁、経団連等の各種委員に就任。

監査法人にて財諸諸表監査、ガバナンス構築、サステナビリティ関連業務を経験。その後、企業開示、サステナビリティ戦略支援、GHG排出削減等に従事。IIRC、CDSB等のメンバーとして、開示・保証の国際フレームワークや基準開発に参画。財務会計基準機構サステナビリティ基準委員会委員、JICPA企業情報開示委員会委員長、IFRS財団IRCCメンバー等を務める。

時代の羅針盤

ナビゲーター

熊野 英介

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CVO

2025年9月11日（木）16:00～18:00（開場 15:40～）

登壇者



佐藤 優 氏

作家
元外務省主任分析官



渋澤 健 氏

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社
代表取締役



安田 洋祐 氏

大阪大学 大学院経済学研究科 教授

1960年東京都生まれ。同志社大学大学院神学研究科修了後、1985年に外務省入省。在ロシア日本国大使館勤務を経て、本省国際情報局分析第一課の主任分析官として対ロシア外交に従事。2002年、鈴木宗男事件に連座し背任・偽計業務妨害容疑で逮捕、有罪確定（懲役2年6か月、執行猶予4年）。2005年『国家の罠 外務省のラスプーチンと呼ばれて』の出版で注目を集め、2006年『自壊する帝国』で大宅壮一ノンフィクション賞等受賞。『獄中記』『私のマルクス』など著書多数。

コモンズ投信株式会社取締役会長、株式会社&Capital代表取締役CEO。ブランドウィック・グループシニアアドバイザー、肥後銀行取締役、株式会社MICIN取締役、経済同友会幹事および中東・アフリカ委員会共同委員長。「新しい資本主義実現会議」、「サステナブルファイナンス有識会議」、「健康経営推進検討委員会」等複数の政府系委員会に所属。GSG Impact Japan 委員長、インパクト・コンソーシアム副会長、東京大学総長室アドバイザー、等。

経済学者。1980年生まれ。東京大学経済学部卒業。米国プリンストン大学でPh.D.（経済学）取得。政策研究大学院大学助教授などを経て2022年から現職。専門はゲーム理論、マーケットデザイン。学術研究の傍ら、マスメディアを通じた情報発信、政府委員活動、経済学のビジネス活用にも取り組んでいる。主な著書（共著）に『日本の未来、本当に大丈夫なんですか会議』（日本実業出版社、2024年）など。

未来の羅針盤

ナビゲーター

熊野 英介

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CVO

2025年11月7日（金）16:00～18:00（開場 15:40～）

登壇者



田中 優子 氏

法政大学名誉教授・元総長
江戸東京研究センター特任教授



水野 祐 氏

法律家
弁護士 シティライツ法律事務所



中村 寛 氏

文化人類学者 デザイン人類学者 多摩美術大学リベラルアーツセンター/大学院教授
アトリエ・アンソロポロジー合同会社代表

『江戸の想像力』で芸術選奨文部大臣新人賞、『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞・サントリー学芸賞、2005年度、紫綬褒章を受賞。江戸時代の価値観から、環境問題、ジェンダー、戦争など現代の問題にも取り組み発言、執筆が続いている。近著に「葛屋重三郎 江戸を編集した男」

法律家。弁護士（シティライツ法律事務所、東京弁護士会）。Creative Commons Japan理事。グッドデザイン賞審査委員。慶應義塾大学SFC非常勤講師。note株式会社などの社外役員。著作に『法のデザインー創造性とイノベーションは法によって加速する』（フィルムアート社）、連載に『新しい社会契約（あるいはそれに代わる何か）』（WIRED日本版）など。

暴力、社会的痛苦、反暴力の文化表現、脱暴力のソーシャル・デザイン等の研究テーマに取り組む一方、人類学に基づくデザインファームを立ちあげ、様々な企業やデザイナー、経営者と社会実装を行う。2020年からグッドデザイン賞外部クリティーク、2023年からグッドデザイン賞フォーカス 이슈ー・リサーチャー、多摩美術大学サーキュラー・オフィスのプロジェクト・リーダーを務める。著書に『アメリカの〈周縁〉をあるく』平凡社、2021、『残響のハーレム』共和国、2015など。

羅針盤シリーズ総括

質問者

末次 貴英

アマタホールディングス株式会社 代表取締役社長 兼 CIOO

宮原 伸朗

アマタ株式会社 取締役

2025年12月4日（木）16:00～18:00（開場 15:40～）

登壇者



熊野 英介

アマタホールディングス株式会社
代表取締役会長 兼 CVO

1979年の創業以来、近代の誤作動を正すため、自然資本と人間関係資本の増加に資する事業のみを行い、持続可能な社会を目指すアマタグループを牽引。天然資源の代替となる循環資源の製造や、日本初の国際エコラベルの審査サービスなど、社会課題の解決に資する新規事業を創出。現在は「経済大国から循環大国へ」を旗印に、関係性が価値となるエコシステム社会の実装に挑む。また、2009年に社会関係資本などの無形資産が資本となる社会を目指す（公財）信頼資本財団を設立し、現在はファウンダーを務める。

全3回

サステナビリティ経営をともに実現するセミナー ～Circular Co-Evolution～循環型共進化

第1回

サーキュラーエコノミーを経営にどう組み込むか？

移行戦略への実現事例

「循環の視点をいかに戦略に組み込むか」「サーキュラーエコノミーを現場でどう推進すべきか」
お悩みを感じている役職者の方々、必見

【このような方々におすすめ】

- 製造業の事業部門・生産現場の部長・課長クラスの方
- 脱炭素以外の環境テーマ（資源循環など）にも取り組む必要を感じている方
- 中期経営計画や戦略策定に携わっている企画・推進部門の方
- 環境・サステナビリティの社内推進役の方



お申込みフォーム



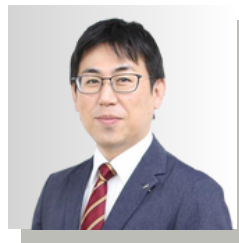
アミタ(株)
宮原 伸朗



アビームコンサルティング(株)
荒井 志朗



三井住友ファイナンス&リース(株)
根岸 豊



サーキュラーリンクス(株)
田部井 進一

2025/8/1(金) 16:00～17:30 — 参加費無料 —
東京会場・オンライン生配信

※会場参加者のみ終了後に懇親会実施

会場：アビームコンサルティング株式会社 本社（東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー）

- 三井住友ファイナンス&リース株式会社
- アミタ株式会社
- アビームコンサルティング株式会社
- サーキュラーリンクス株式会社
- 株式会社GXコンシェルジュ

5社連携による企業のサステナビリティ経営を
加速させるトータルソリューション

「Circular Co-Evolution(CCE)」提供開始

各領域のリーディングカンパニーが結集し、
歴史的転換点に立つ日本の製造業を持続可能な未来へと導きます



<https://www.circular-co-evolution.com>